



平成 29 年 8 月 31 日

会 報 第 7 号

会津「The13」事業協議会 平成29年度 第1回 検討会・勉強会

発行：会津「The13」事業協議会

事務局 〒965-0873 福島県会津若松市追手町 5 番 36 号

TEL 0242-29-1910 FAX0242-29-5916 E-mail g-ryohei@adoken.co.jp

この号の内容

1. 開催日
2. あいさつ
3. 事業経過報告
4. 検討会・勉強会趣旨説明
5. 検討会・勉強会

テーマ「事業の全体像と革新的林業の重要性」

内 容 目指したい地域像についての意見交換、農村振興や雇用確保、地域循環経済の考え方の整理、会津方部13市町村の共通課題の再認識、13市町村が一体となって活動することの意義の確認

講 師 (株)アルファフォーラム
代表取締役社長 小林 靖尚 氏

6. 事務局より

1 開催日

1. 日時：平成 29 年 8 月 29 日(火)13:30～17:00
2. 場所：会津大学
会津大学先端 ICT ラボ(通称:LICTiA)2F カンファレンススペース
会津若松市一箕町鶴賀字上居合 90 TEL:0242-37-2500

3. あいさつ
4. 事業経過報告
5. 検討会・勉強会趣旨説明
6. 検討会・勉強会

テーマ「事業の全体像と革新的林業の重要性」

内 容 目指したい地域像についての意見交換、農村振興や雇用確保、地域循環経済の考え方の整理、会津方部13市町村の共通課題の再認識、13市町村が一体となって活動することの意義の確認

- 講 師 (株)アルファフォーラム 代表取締役社長 小林 靖尚 氏
7. 事務局より

2 あいさつ

1. 唐橋理事長の挨拶



次回スケジュール

日時:未定

場所:未定

内容:第 2 回 平成 29 年 9 月

- ・テーマ「会津森林資源フル活用に求められる先導モデルとは」
- ・内容 広域連携 13 市町村で取り組む事業の特徴について
- ・講師
秋田県立大学 木材高度加工研究所
教授 高田 克彦 氏

よろしくお願いいたします。



平成 29 年度 サポート事業の第 1 回 検討会・勉強会開催に際し、委員、準会員、行政の皆様約 50 名のご参加をいただきスタートできました事、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

3 事業経過報告



福島県発注の災害公営住宅(復興住宅:いわき市)へ CLT の導入が決定し、本県の CLT 使用量は日本一の先進地である旨説明があった。また、本災害公営住宅に使用する CLT 約 2,200 m³作成の為に樹齢 50~60 年のスギ約 12,000 本の伐採が必要との話があり、川上~川中~川下の連携が如何に重要であるかを確認することができた。

4 検討会・勉強会趣旨説明

会津「The13」事業協議会は、福島県会津振興局管内(13市町村)および中央の経済界メンバー(29団体)で構成され、平成28、29年と福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)の採択を受け、会津の豊かな森林資源を活用する木質バイオマスボイラー熱供給事業構築へ取り組んでいる。

平成28年度事業は、川上(林業経営:森林伐採、植林)～川中(製材品:ラミナ、チップ)～川下(熱供給事業、ラミナ製造事業)までの循環型地域経済構築の検討を実施し、事業の全体像を把握してきたが、本年度は喫緊の課題である、高齢化、低在職数となった現林業に変革をもたらすべく、川上(伐採・集材・搬出)～製材・乾燥・チップ化までの「新しい林業」体制構築へ向け「人材育成」に焦点を絞り検討会・勉強会(現地研修を含む)を実施する事とした。

本検討会・勉強会は、熱供給事業において燃料として使用するチップおよび福島県で建設予定のCLT(クロス・ラミネーティッド・ティンバー:Cross-Laminated-Timber)工場へラミナ(CLT用板材)を供給する各事業に対し、川上～川中～川下における価値創出連携、徹底管理による木材の伐採、搬出、製造により永続的な雇用確保を可能とするには、国内外における品質・価格競争に対抗する為「新しい林業」における人材育成が必要不可欠であるとの結論に達し実施する。また、現在のアナログ的な管理・運営から工業製品の管理へ移行するには、川上～川中～川下における全体管理・運営体制が必要不可欠であり、ICT化、IoT化への取組みが重要であると考えている。

新しい林業構築へ向け皆様と一緒に検討を進めたい。

5 検討会・勉強会

1. 検討会・勉強会



検討会・勉強会

テーマ 「事業の全体像と革新的林業の重要性」

内容 目指したい地域像についての意見交換、農村振興や雇用確保、地域循環経済の考え方の整理、会津方部13市町村の共通課題の再認識、13市町村が一体となって活動することの意義の確認

講師 (株)アルファフォーラム 代表取締役社長 小林 靖尚 氏



昨年度皆様と共に活動してきた内容を下記内容にて確認し、本年度の活動内容の位置付けを明確化した。

1. 本事業における全体像を再確認した。(平成 28 年度 マスタープランより)
 - 1) 森林資源を活用した循環型地域経済の創生
 - ・会津地域の森林資源を活用した木質バイオマスボイラーによる熱供給事業を構築する意義について。
 - 2) 民間事業の立上げ
 - 3) バイオマス熱供給事業の概要
 - 4) 事業の内容確認(各事業部分の概略、組織機能の確認)
 - 5) 川上～川中～川下において創出される雇用について
 - 6) 新しい林業(革新的林業)の重要性について
 - ・川上(林業)部分の雇用創出がいちばん多い。
 - ・川上が変わればプロジェクトは推進する…重要なポジションである。
 - 7) 川上～川下までの検討会論点、確認

※ 委員よりのコメント(終了後)

全体像の再確認とプロジェクトの具体的機能説明により動き方、雇用創出等の数字が見え、次のステップへ進んでいる事を実感することができた。成功させたい。

6 事務局より

事務局より本年度の検討会・勉強会開催に関し下記内容の説明があった。

1. 実施予定

第 2 回 平成 29 年 10 月

- ・検討委員会テーマ 「会津森林資源フル活用に求められる先導モデルとは」
- ・講師 秋田県立大学 木材高度加工研究所 教授 高田 克彦 氏
- ・内容 広域連携 13 市町村で取り組む事業の特徴について

第 3 回 平成 29 年 10 月(林業フィールド研修)

- ・現地研修テーマ 「熱供給事業へ向けての新しい林業」
- ・講師 福島県素材生産協同組合 理事長 渡部 一也 氏
- ・内容 森林資源の現状確認、林業コスト削減(低コスト、チップ品質確保等)、安全確保に関する研修。

第 4 回 平成 30 年 1 月

- ・報告会及び研修終了検定試験
- ・講師 (株)アルファフォーラム 代表取締役社長 小林 靖尚 氏
- ・内容 地域循環経済の基礎となる熱供給事業展開のシナリオ発表
事業収支計画(概算)の共有と産・官役割の説明
- ・検定試験

2. 参加者へのお願い。

本年度の検討会・勉強会では、参加の証(マインドアップ)、習得状況の確認を目的に、最終回(第 4 回)開催時に簡単な試験を実施することとなった為、一貫して同じ方にご参加いただけるようご配慮をお願いした。

以 上

会津「The13」事業協議会

平成29年度 第1回 検討会・勉強会 (実施日：平成29年8月29日)

福島民報新聞

平成29年9月1日掲載

林業支える人材育成を

「The13」事業協が検討会

若松

会津地域の循環型産業の在り方を探る会津「The13」事業協議会の検討会・勉強会は八

月二十九日、会津若松市の会津大で開かれ、革新的林業の重要性などを考えた。

協議会を構成する商工会議所、商工会、企業などの関係者が出席した。アルファフォーラムの小林靖尚社長が講師を務めた。「川下」

とと呼ばれる木材の需要、活用法を紹介した後、「川上」の林業を支える人材育成の必要性を説いた。



革新的林業の重要性について語る小林さん

会津全域の森林の現状を把握する調査が今後の事業展開の上で不可欠であるとの見解も示した。